

__観光__最終レポート

地鉦温泉は、足湯を楽しみながら、海と温泉の接続部を体験できるという点が他には無い独自性を持っていると感じた。また、絶景の中で自分と向き合える場として、メンタルヘルス的なアプローチも可能だと感じた。したがって、自然と一体化した癒しの空間として非常に魅力的だと感じた。しかし、地鉦温泉へ向かう道には多くの段差があり、足の不自由な人にとってはアクセスが非常に難しい場所だとも感じた。エスカレーターなどのバリアフリー設備を導入すれば、アクセスは向上するが、秘湯としての魅力が損なわれてしまうというジレンマが存在する。このため、観光地としての開発と自然の保全のバランスをどう取るかが課題になると感じた。

神引展望台トレッキングコースへ向かう道路は、サイクリングに適していると感じた。レンガ調に整備された道が印象的で、周囲に広がる木々がこのように整備された道は、自然と調和しつつも快適な体験を提供しており、まるで異世界に迷い込んだかのような感覚を思い起させてくれました。小学校の周りの道はサイクリングするには整備が追いついていないように感じたので、今後道路が整備されていけばよりサイクリングを快適に感じられるのではないかと考える。

神引展望台のトレッキングコースは、「となりのトロトロ」や「白雪姫」、「不思議の国のアリス」などの物語の中に登場するような風景が広がっていた上、植生が特徴的だったので道中の景色が非常に印象的だった。こうした独特の世界観は、観光客にとっての大きな魅力になると感じた。また、特に隈の井付近に広がるひらけた土地は、火山噴火後の植生を直接感じられ、まるで SF 映画の撮影現場のような異世界感があり、感動する人は多いのではないかと感じました。日本の中でも、こうした様子の雄大な景色は珍しいと考えられるのでポテンシャルは高く、大きなアピールポイントになるのではないかと感じた。ただ、これほどまでに素晴らしい場所に自力でたどり着くのは難しいと感じた。なぜなら、パンフレットにここの景色も掲載されていなく、標識や近くのマップにも詳細がなかったからである。したがって、このような素晴らしい場所をどのように周知していくかが課題になると感じた。加えて、このひらけた土地にいくまでの道中に展望台があったが、そこから見える海中温泉が CO2 により生物がすめなくなっていること、それを筑波大学が研究していることなどは横田先生の解説がなければわからなかった。したがって、そうした島に関する情報をその場所で知ることができる案内板の設置やデジタル化した解説ガイドの提供などがあればより式根島を楽しんでもらえるのではないかと感じた。

また、青い海と白い砂浜・海亀という景観は、観光地としての最大の魅力になり得る要素だが、白い砂浜・海亀についての言及が無いように感じた。熱海が観光地として白い砂浜を重視し、わざわざ輸入した砂でビーチを整備した事例があるほど白い砂浜は観光のシンボルとして活用することができる。また、東京からこんなに近くで海亀が見れるということも全く知らなかったものでこれに対してもどのように周知していくのが課題になると感じた。

提案ベースになってしまい申し訳なく感じている。高校生には行政、民間、島民などの多角的な視点から考えてみてもらいたいと同時に、若さで突き進んでいって欲しいとも感じている。